

平成 20 年度科学研究費補助金研究代表者死亡等報告書

平成 20 年〇〇月〇〇日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

〇〇〇 大学長 〇〇〇〇 [職印]

機関番号 1 | 2 | 3 | 4 | 5

平成 20 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））について、下記のとおり研究代表者が欠けました。研究代表者が一人で行っていた事業であるので、研究代表者に代わり報告します。

記

(1) 課題番号 2 | 0 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7

(2) 研究課題名 〇〇〇〇〇に関する研究

(3) 研究代表者氏名 (所属していた部局・職)
〇〇〇〇 (〇〇学部・教授)

研究者番号 1 | 0 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7

(4) 交付決定額 1,300,000 円 ...①+②
うち直接経費 1,000,000 円 ...①
間接経費 300,000 円 ...②

(5) 補助金の使用状況

1) 支出済額

直接経費 700,000 円 ...③
間接経費 [③×30%] 210,000 円 ...④ (②=「0」であれば「0」を記入)

2) 未使用額

直接経費 [① - ③] 300,000 円 ...⑤
間接経費 [② - ④] 90,000 円 ...⑥ } [⑤+⑥=返還金額]

(6) 研究代表者が欠けた年月日及びその事由
平成 20 年〇〇月〇〇日 死亡のため

(7) 変更交付決定額 910,000 円 ...⑦+⑧
うち直接経費 [① - ⑤] 700,000 円 ...⑦
間接経費 [② - ⑥] 210,000 円 ...⑧

※ 本様式は、一人で行う研究において、研究代表者が欠けた場合にのみ使用してください。

様式 C-5-2 [作成上の注意]

- この申請書は、交付決定後において研究代表者が欠けた場合に、研究機関代表者がA4判（縦長）で作成し提出すること。また、本様式の提出に当たっては、交付申請書の写（この研究課題が補助事業者を変更している場合は、交付申請書及び、当該補助事業者変更承認申請書の写）を一部添付すること。
- 「（４）交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、この欄を含め全ての間接経費欄に「0」を記入すること。
- 「（５）１）支出済額」欄には、この申請書の提出時の支出済額（当該研究のために使用した利子（預貯金利息）は除く。）を記入すること。
- 「（５）１）支出済額」欄の④の間接経費の額は、円未満を切り捨てた額を記入すること。

補助金の使用状況

利子（預貯金利息）		}	支出済額 → （５）１）に記入
直接経費	間接経費		
		}	未使用額 → （５）２）に記入（＝返還額）

- 「（６）研究代表者が欠けた年月日及び事由」欄には、研究代表者が欠けた年月日を記入し、その具体的事由（死亡・失踪等）を記入すること。
- 「（７）変更交付決定額」欄には「交付決定額」欄の金額から「（５）２）未使用額」欄の金額を差し引いた金額を記入すること。
- 「特別研究員奨励費」の場合、「課題番号」欄は内定一覧に記載された「採用年度・受付番号」を右詰で記入すること。「研究者番号」は空欄で構わない。

（例）・平成19年度の採用の特別研究員で受付番号が1234の場合

19・1234

（例）・平成19年度の採用の外国人特別研究員で受付番号が01234の場合

19・01234

注）外国人特別研究員のみ受付番号の一桁目に「0」がつく。